

福幸きらり商店街跡地利活用事業基本構想策定 第3回検討会資料

株式会社船井総合研究所

2021年4月15日

第3回 検討会の次第

1. 開会

2. 検討内容

- (1) 前回までの振り返り
- (2) 検討委員へのアンケート結果紹介
- (3) 各業態 トレンド・事例紹介
- (4) 意見交換
- (5) 次回オンライン視察会紹介

3. 閉会

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容



- これまでの岩手県大槌町の復興において大きな役割を果たした、福幸きらり商店街は地域の新たな拠点としての役割を期待されています。



1 大槌IC付近は町の計画で**文教拠点**として位置づけられている

2 跡地周辺には商業施設も隣接しており、**地域の方々の商業拠点**である

3 大槌IC開設＝県内外のアクセス拠点化により、**交流人口の増大**が期待できる

i. 商店街設置の経緯

平成23年12月

福幸きらり商店街は、東日本大震災で被災した大槌町の商業を再生する目的で大槌北小学校跡地に仮設商店街として40区画整備された。これまで復興拠点として地域の方々が利用し、地域に多大なる貢献をしてきた。

平成29年

町方地区等の区画整理事業用地の引き渡しが始まったことから、各店舗の本設移転が徐々に開始された。

令和元年

商店街の跡地利用に関して本格的な検討を開始。
経済性を重視した「道の駅の可能性診断」を実施。

令和2年3月

全ての商店の移転または撤収が完了
11月
第1回「福幸きらり商店街跡地利活用事業検討委員会」開催

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容



- 福幸きらり商店街跡地の利活用については以下の2つの視点を重視した検討が必要となります。

福幸きらり商店街跡地検討 のポイント

福幸きらり商店街跡地においては、「経済性・収益性」と「社会性・文化性」の両観点から、方向性を検討する必要性があります。

1つ目の「経済性・収益性」については、地域の産業振興に加え、施設の運営原資とする観点から重要な視点となります。

2つ目の「社会性・文化性」については、地域社会の発展の観点から公共的な役割を果たすことが期待されるため、地域課題を解決するような機能の検討が必要なります。

ポイント1 経済性・収益性を持つ機能

- 物販機能（直売、一般物販）
- 飲食機能（飲食、カフェ）
- 観光機能（体験、見学）
- 開発機能（商品開発）
- サービス提供機能（体験）



両立
×

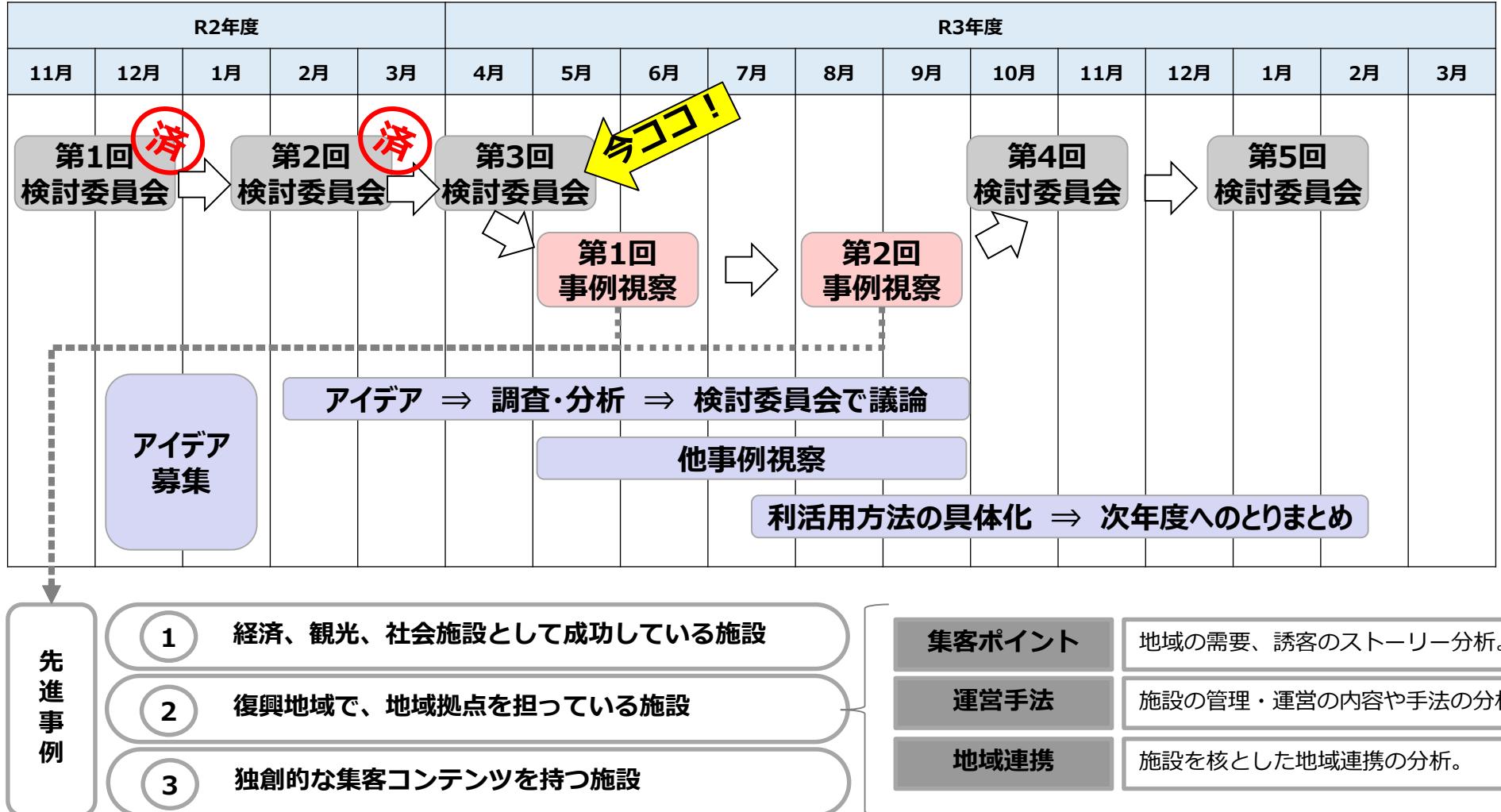
ポイント2 社会性・文化性を持つ機能

- 子ども子育て機能
- スポーツ振興機能
- 地域コミュニティ創出機能
- 福祉機能
- 文化・芸能振興機能



2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容

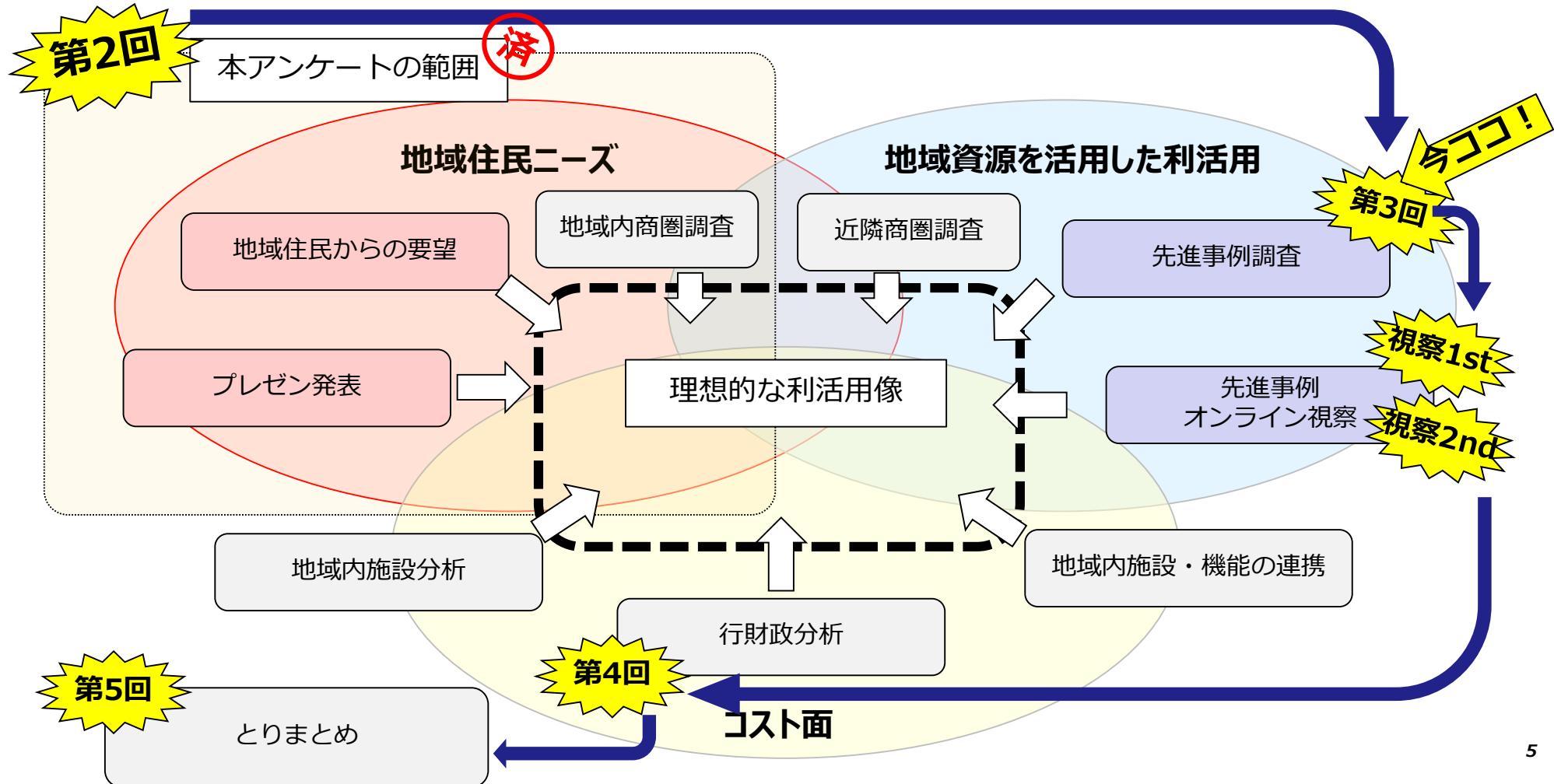
- 検討委員会は、合計5回行われます。
- また検討委員会に資する情報にしっかりと触れる目的で地域外の先進事例視察を2回開催します（オンラインを想定）。



2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容



- 今後の利活用策を検討するにあたっては、下記の3つの視点が必要となります。
- 第2回目の検討委員会では、アンケート結果分析を中心に地域の方々のニーズから利活用策を整理しています。
- 今後の検討委員会では、地域資源を活用した利活用策がないかを考えいくとともに、利活用策として継続・維持していくためには、どれくらいのコストがかかるのかについても3回の検討委員会、さらに2回の視察を踏まえ考えていきます。

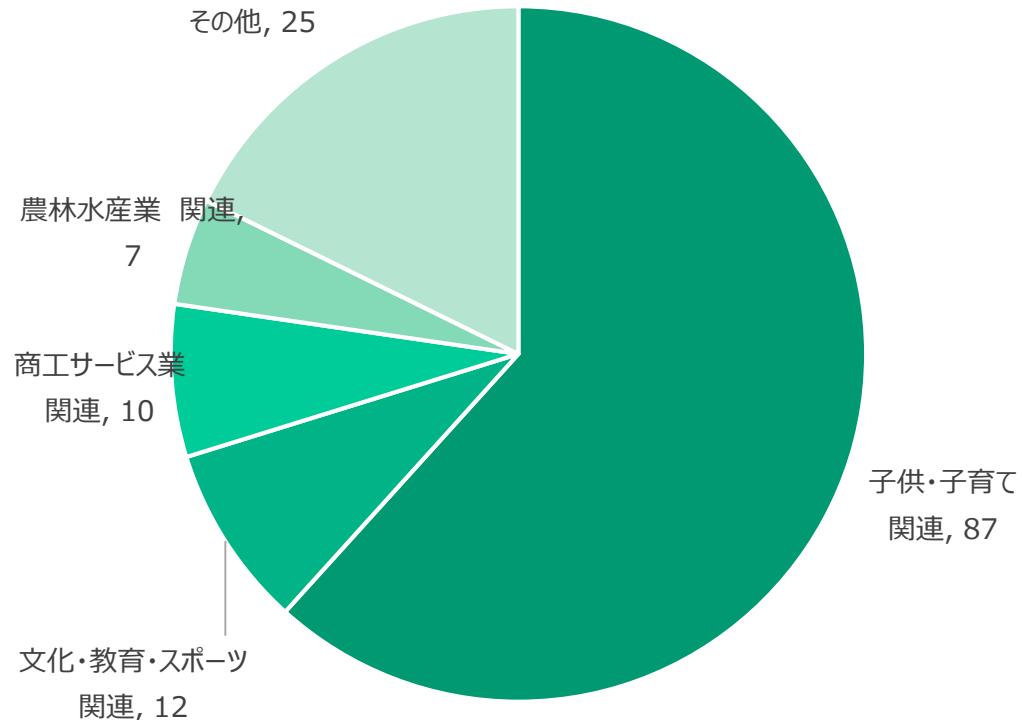


2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容



- アンケート回答者の回答先団体別で集計をしたところ、子供・子育て関連からの回答が全体の約7割と最も多い結果となりました。
- その他、地域で活動する文化関連、商工サービス業関連、農林水産業関連からの回答もバランスよくご回答頂きました。

回答者の主な提出先 (母数: 141 単一回答)



■回答者の主な提出先団体

No	項目	実数	構成比
1	子供・子育て 関連	87	61.7%
2	文化・教育・スポーツ関連	12	8.5%
3	商工サービス業 関連	10	7.1%
4	農林水産業 関連	7	5.0%
5	その他	25	17.7%
合計		141	100.0%

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ①第2回 検討会内容



- アンケートの分析結果としては、跡地利活用に対する期待の大きさ、及び3つに集約される施設利活用イメージが明確になりました。
- 一方で、それらの複合構成比や運営については今後の事例研究、視察を踏まえて、深く検討する必要があることが分かりました。

ポイント1. 跡地利活用に対する期待は大きい

- ・合計で150近い要望が寄せられており、立地として有望な跡地の利活用に対する期待は大きい。
- ・要望は、子供・子育て関連を通じた回答が最も多いものの、産業関連、農林水産関連や一般の窓口への提出も多く、町民全体の関心事になっている点がうかがえる。
- ・ただし、要望については住民が持つ課題によって多様性があり、提案にはばらつきがある。

ポイント2. 利活用提案の分類は3つ。キーワードは「にぎわい」。

- ・要望は大きく分けて、子供・子育て関係、産業関係、文化・教育・スポーツ関連の3つに分類される。
- ・最も多いため、子供・子育て関係であり、中でも突出して多いのが「公園」機能である多くの提案が3分類の複合型の提案となっている。
- ・一方で、公園を含む多くの提案内容に共通して要望されている機能には「地域内外の人が集まる場」としての機能「にぎわい」であることが明確になった。
- ・今後はどのような複合が好ましいか、各地域の事例を参考に話を進めていく必要がある。

ポイント3. 運用については知見が少なく、検討委員会でのさらなる検討が必要である。

- ・運営方針については、要望に応じて回答が異なる傾向があるが、現段階では町営が最も多くなっている。
- ・一方、分からぬ、と回答した割合が41.8%と最も多かった点からも現段階の構想、及び知見では判断ができない状態であることが明らかになった。
- ・よって、今後は他の施設の事例なども踏まえて運営方針については細かい検討が必要となる。

第3回
事例研究

第1回
視察

第2回
視察

第4回
第5回
へ

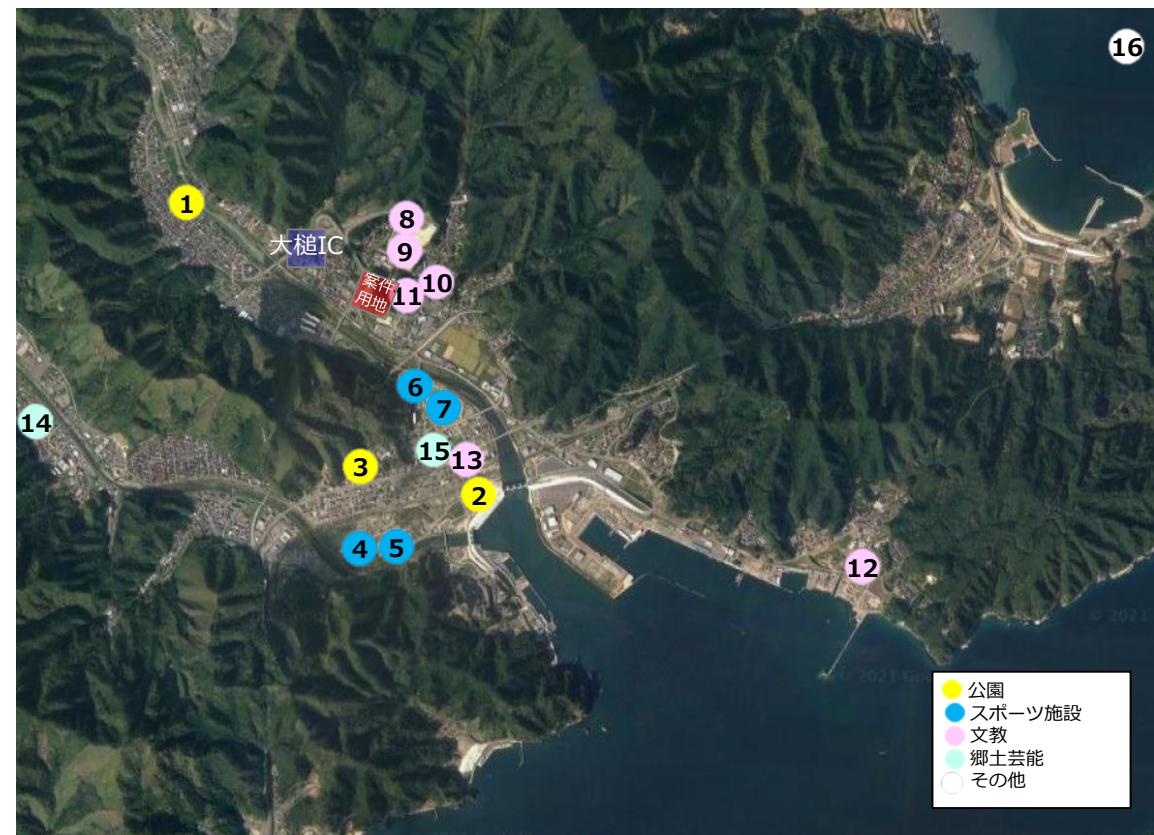
2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り (2) 地域内外調査結果



- 第2回目 検討委員会の結果を受けて、特に要望度の高い施設を中心に地域内外調査を行いました。
- 調査先は、町内においては公園、文教、関係施設が多く上がりました。
- 特に案件用地周辺は、文教施設が集中しており、「集い」の必要性が高いと判断されました。

調査日程

2021年3月31日～4月1日



NO	カテゴリ	施設名	地域
1	公園	大ヶ口公園	大ヶ口
2	公園	(仮称) 鎮魂の森	須賀町
3	公園、スポーツ	城山公園 (体育館、中央公民館)	役場上
4	スポーツ	多目的グラウンド	栄町
5	スポーツ	町営サッカー場 (6月供用開始)	栄町
6	スポーツ	町営野球場 (6月供用開始)	新町
7	スポーツ	町営テニスコート (6月供用開始)	新町
8	文教	県立大槌高校	沢山
9	文教	町立大槌学園 (小中一貫校)	沢山
10	文教	学童	沢山
11	文教	子どもセンターOLAI	沢山
12	文教	東京大学大気海洋センター	赤浜
13	文教	おしゃっち	末広町
14	郷土芸能	臼澤鹿子踊保存会館伝承館	寺野
15	郷土芸能	向川原虎舞会館	末広町
16	その他	養殖場	船越湾

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り (2) 地域内外調査結果



- 地域外においては、復興関連施設を中心に事例を収集しました。

調査日程	2021年3月31日～4月1日
------	-----------------



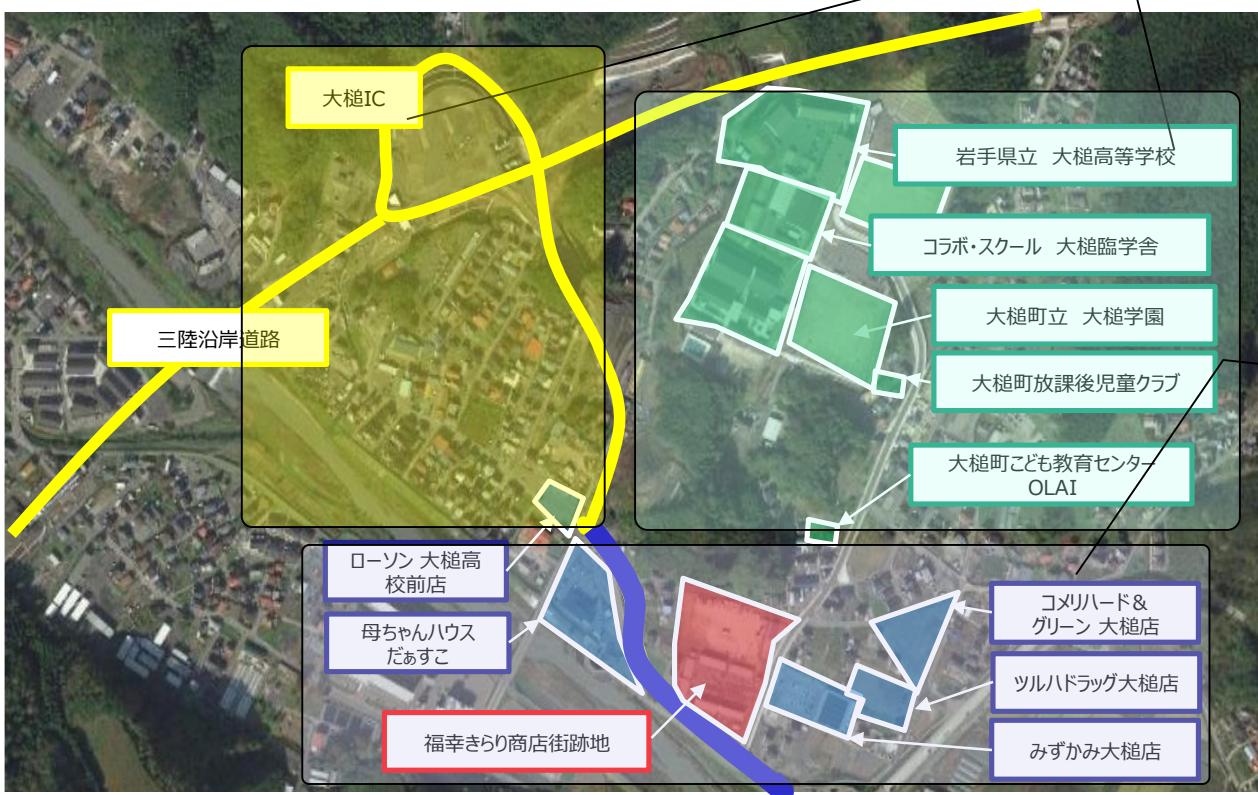
NO	カテゴリ	施設名	地域
1	公園	船越公園	山田町
2	道の駅	やまだ	山田町
3	物販	UNOSUMAI	釜石市
4	物販	サンフィッシュ	釜石市
5	飲食	シープラザ	釜石市
6	物販(SM)	イオンタウン	釜石市
7	物販	キャッセン大船渡	大船渡
8	道の駅	高田松原	陸前高田市
9	物販	CAMOCY	陸前高田市
10	物販	ナインワン	気仙沼

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り (2) 地域内外調査結果

- 公園については、地域内を中心に整備・未整備の公園を視察した。
- 結果としては、大型の公園は少ないものの、一定数以上の地域公園が存在することが確認された。
- 一方で、船越公園のような広さがある公園はないため、新たな機能としての公園ニーズは高いと判断されました。

圧倒的な文教施設の集積

- 大槌学園（小学校、中学校）、大槌高等学校が存在しており、合計772名の学生が毎日通学している。クラブ活動も盛んであり、通年を通して子供たちの交流がある。
- 学童保育、OLAIを含めて、放課後時間には交流の場となっている。
- お迎えの場所としては最適の場所であり、相当数の親子世代が活用している。



観光の入口の整備

- 三陸沿岸道の整備が進むことにより、大槌ICが整備され、地域外からの大槌町への入口が変わりつつある。
- 今後は、三陸沿岸道路の認知度が高まるにつれて、交通のメイン動線は、三陸沿岸道に移ると予測される。

圧倒的な文教施設の集積

- 案件用地周辺には、
 JA直売所 : だあすこ
 スーパー : みずかみ
 ドラッグ : ツルハ・薬王堂
 ホームセンター : コメリ
 コンビニ : ローソン
 が次々と立地しており、新たな産業集積を形成しつつある。
- 案件用地周辺は、教育施設、商業施設の集積により住宅の新設も進みつつあり、今後も住宅は増加する可能性がある。
- 一方で大槌町らしさを活かしたコンテンツは、現段階では少ない。(ナショナルチェーンが多い)

2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り (2) 地域内外調査結果



- 公園については、地域内を中心に整備・未整備の公園を視察した。
- 結果としては、大型の公園は少ないものの、一定数以上の地域公園が存在することが確認された。
- 一方で、船越公園のような広さがある公園はないため、新たな機能としての公園ニーズは高いと判断されました。

施設1. 大ヶ口公園

カテゴリ：町内公園

【概要】

- 案件用地から徒歩約10分の場所に位置している、敷地面積1600m²の都市公園である。
- 遊具は滑り台とスプリング遊具があるのみである。
- 遊具の下は、芝生だが、全体的ではない。



施設3. 城山公園

カテゴリ：町内公園、スポーツ施設

【概要】

- 高台にある公園と公民館。
- 体育館が整備され、680席の観覧席がある。
- 体育館では、バレー、バスケットボール、バトミントンが対応可能協議となっている。
- 又、トレーニング室もあり卓球が可能である。



施設4. 船越公園

カテゴリ：町外（山田町）公園

【概要】

- 大槌町ICより約15分に位置する公園。
- コンビネーション遊具やブランコなどおなじみの遊具がそろっている。
- ジャブジャブ池も整備。
- 鯨と海の科学館も併設されている他、大人向け健康器具も整備されているため、利用者の年齢層は幅広いと考えられる。



2. 検討内容 (1) 前回までの振り返り ③参考

- 子供たちのニーズを把握するために、4月3日におおつち遊び場プロジェクトさん主催の遊びイベントが実施されました。
- 当日はのべ100名以上の子供たちが集まり、きらり跡地を活用して大いに盛り上りました。

4月3日（土） 13時～15時 のべ100名以上の集客と遊びの実施



2. 検討内容 (2) 検討委員へのアンケート結果紹介 ①調査概要



- 第2回 町民からの利活用案を基にさらに深堀アンケートを行った。
- アンケートでは、必要機能群 14機能 についての必要度、及びその論拠となるフリーアンサーでの集計を行った。

調査目的	■ 第2回の検討委員会で活用したアンケート結果から導き出された必要機能群「14機能」について、委員を中心としたニーズ調査を深堀りする。
調査手法	■ アンケートの送付と回収
調査期間	■ 調査票配布・回収：3月15日～4月3日 ■ 集計・分析：4月3日～4月12日
必要とされる 14機能群	1. 公園 3. 物販施設 5. 郷土芸能会館 7. ドッグラン＆動物病院・動物園ふれあいランド 8. 海のラーニングセンター構想 10. 市民農園 12. 駐車場 14. 宅地（土地分譲） 2. スポーツ施設 4. カフェ・ファミリーレストラン 6. 音楽ホール 9. ショッピングモール・アウトレットモール 11. 高齢者向けカフェ 13. シェアハウス
アンケート項目	■ 機能の必要度評価 ■ フリーアンサー（ポジティブ意見・ネガティブ意見）
調査体制	■ 大槌町役場にて、配布・回収。 ■ 集計、分析は株式会社 船井総合研究所にて実施。

2. 検討内容 (2) 検討委員へのアンケート結果紹介 ②調査結果



- 深堀アンケートの結果は以下の通りとなります。
- 圧倒的に支持率の高い機能は公園であり、その他の機能のポイントは50ポイント未満となります。
- ◎がついている機能を含めて検討を進める必要があります。

【資料03】検討委員会「福幸きらり商店街跡地利活用案の評価リスト 作成」アンケート結果 一覧

2021/4/15

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
			○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○		
1	子供・子育て	公園（子供の遊び場）	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	76	66.7%
2	文化・教育・スポーツ	スポーツ施設 (温水プール、フットサル、ボルダリング等)	○	×	○	○	○	○	○	△	×	○	△	○	44	16.7%
3	産業	物販施設 (道の駅等)	△	△	△	○	○	×	△	×	○	△	×	×	30	16.7%
4	産業	カフェ・ファミリーレストラン	△	×	○	△	△	△	△	×	○	×	○	△	28	8.3%
5	文化・教育・スポーツ	郷土芸能会館	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	28	8.3%
6	文化・教育・スポーツ	音楽ホール	○	×	△	△	×	○	△	×	×	×	×	○	26	16.7%
7	文化・教育・スポーツ	ドッグラン&動物病院・動物園ふれあいランド	○	×	○	△	×	○	△	△	×	×	○	△	24	0.0%
8	産業	海のラーニングセンター構想	△	△	×	×	×	×	△	△	○	×	×	×	16	8.3%
9	産業	ショッピングモール・アウトレットモール	△	×	×	○	△	×	×	×	△	×	×	○	14	0.0%
10	産業	市民農園	△	×	△	△	×	○	×	△	×	×	△	×	14	0.0%
11	高齢者	高齢者向けカフェ	△	×	○	△	×	×	△	×	×	×	△	×	12	0.0%
12	その他	駐車場	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	12	0.0%
13	産業	シェアハウス	△	×	○	×	×	×	△	×	×	×	×	△	10	0.0%
14	その他	宅地（土地分譲）	△	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	4	0.0%

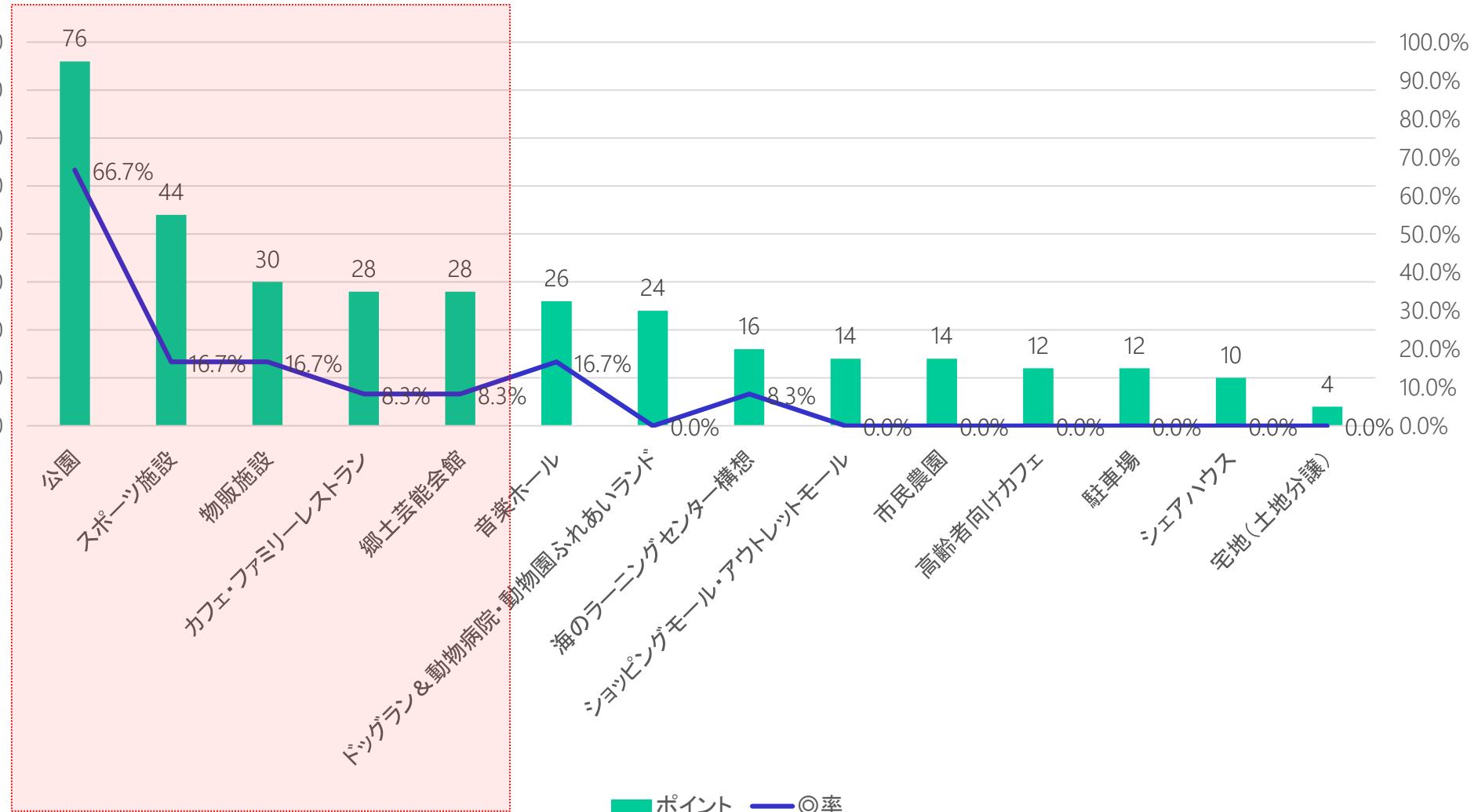
採点方法・・・各委員の皆様からの評価に基づき、「○」を8点、「○」を4点、「△」を2点、「×」を0点として計算。
その他の意見としては、特に高校生の居場所、企業誘致用地、民間売買・町有地、キャッシングpostなどが挙げられた。

作成：株式会社 船井総合研究所

2. 検討内容 (2) 検討委員へのアンケート結果紹介

②調査結果

- 今回は、特に支持率が高い5つの機能について詳細に業種・業態動向について共有し、意見交換会につなげていきます。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編

- 公園市場については、国土交通省によれば公園は大きく分けて7分類されます。
- 今回の面積 1.6haを勘案した場合、街区公園もしくは近隣公園に位置づけられます。

種別	例	定義	面積	件数	1公園当たり平均数
住区基幹公園	街区公園	街区内外に居住する者の利用に供することを目的とする公園で1近隣住区当たり4ヶ所を誘致距離250mの範囲内で1ヶ所当たり面積0.25haを標準として配置する。	0.25ha	88,052	484
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で1近隣住区当たり1ヶ所を誘致距離500mの範囲内で1ヶ所当たり面積2haを標準として配置する。	2.00ha	5,792	5,445
一園	地区公園	主として徒歩圏域内外に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離1kmの範囲内で4近隣住区当たり1ヶ所面積4haを標準として配置する。	4.0ha	1,619	16,063
都市公園基幹	総合公園	都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1ヶ所当たり面積10～50haを標準として配置する。	10～50ha	1,375	57,415
運動公園		都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1ヶ所当たり面積15～75haを標準として配置する。	15～75ha	834	47,069
大規模公園	広域公園	主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域的なブロック単位ごとに1箇所当たり面積50ha以上を標準として配置する。	50ha以上	215	209,723
レクリエーション公園		大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模1000haを標準として配置する。	1,000ha以上	6	284,562

※国土交通省（2019）「都市公園データベース」より抜粋・加筆

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編



- 公園はアンケートにおいて最も高い評価が得られたテーマとなっています。
- 全体の50%以上の8つの「○」を付けており、「×」がない点からも公園要素は必要となる可能性が高いと判断されます。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	○率
1	子供・子育て	公園（子供の遊び場）	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	76	66.7%

ポジティブな意見

- 公園は早急に必要だと思う。鵜住居地区にはどんどん公園が建設され、町民もわざわざ釜石等近隣市町村に行っている。町内に整備する必要性を検証した上なら、○だろう。
 - 多方面から公園がほしいという声が聞かれる。子どものあそぶ権利が保証されていない町で、子育てはできないし、移住定住を促進することも難しい。
 - ただの公園広場の整備であれば費用負担も少なく済むと思う。
 - 遊具のある公園が少なく町指定避難所等の高台も近く、検討したい。
- 他 多数

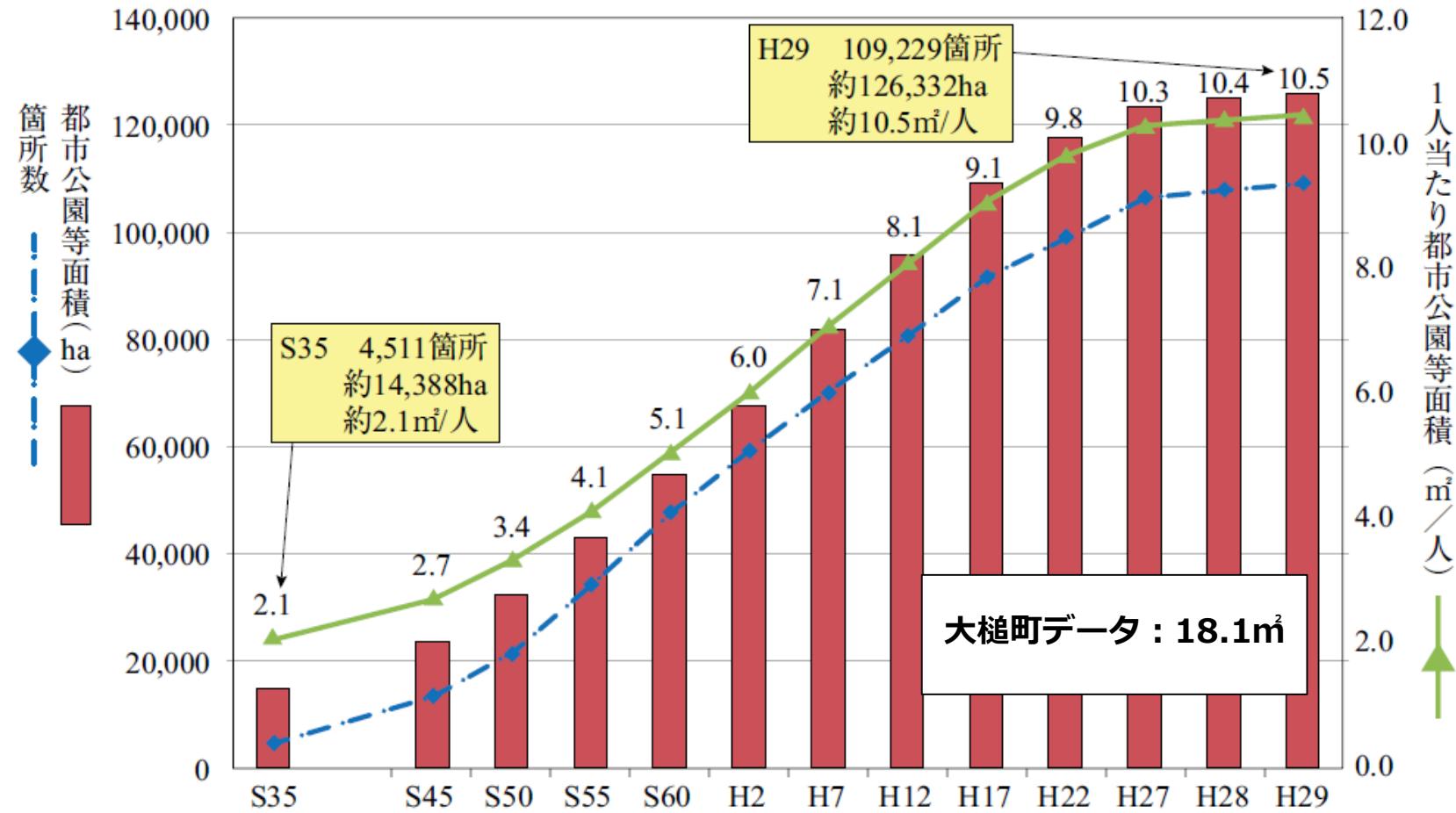
ネガティブな意見

- 公園は必要であると思うが、きらり跡地である必要性は無い。
- 公園そのものに収益性はないので検討が必要だろう。
- 公園だけだと子供中心のもので終わってしまう懸念があるので、もう少し幅広い年代・地域から人を呼び込める施設（例えばオートキャンプ場などの併設）があれば、公園の付加価値も高められるのではないか。
- 野球場・テニスコート・バスケットコート・旧役場庁舎跡地のクローバー公園・おしゃっち・（セブン）、これらと一体でエリアマネージメントすると、若干の遊具を設置するだけで済むような気もする。

ポジティブな意見が多く、高く評価する「○」が66.7%が多い。
一方で、維持管理運営については、今後のコストを含めて検討を求める声が多い。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編

- 現在、求められる面積はおおむね国民一人当たり 10.0m^2 とされており、我が国においては2015年に基準を超えていました。
- 大槌町においては、公園整備が進んでおり、合計で19ha、町民平均で 18.1m^2 の専有面積があります。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編

- 現在、大槌町には合計42の街区公園が整備されています。
- 地区公園としては、城山公園が最も大きく 16.3haとなっています。

番号	公園区分	公園名	計画面積	開設面積		
				(0.06	ha)
1	地区公園	城山公園	16.30 ha	16.30 ha	(3.00 ha)
					(8.70 ha)
					(10.10 ha)
					(15.30 ha)
					(16.30 ha)
2	街区公園	ふ化場公園	0.43 ha	0.43 ha		
3	街区公園	迫又公園	0.04 ha	0.04 ha		
4	街区公園	花輪田公園	0.02 ha	0.02 ha		
5	街区公園	桜木公園	0.16 ha	0.16 ha		
6	街区公園	高清水公園	0.02 ha	0.02 ha		
7	街区公園	大ヶ口公園	0.16 ha	0.16 ha		
8	街区公園	大ヶ口第2公園	0.02 ha	0.02 ha		
9	街区公園	吉里吉里小公園	0.09 ha	0.09 ha		
10	街区公園	吉里吉里第3公園	0.03 ha	0.03 ha		
11	街区公園	城内公園	0.07 ha	0.07 ha		
12	街区公園	代官所跡公園	0.08 ha	0.08 ha		
13	街区公園	四日町公園	0.05 ha	0.05 ha		
14	街区公園	八日町公園	0.05 ha	0.05 ha		
15	街区公園	末広町公園	0.04 ha	0.04 ha		
16	街区公園	大町公園	0.05 ha	0.05 ha		
17	街区公園	御社地公園	0.25 ha	0.25 ha		
18	街区公園	松の下公園	0.05 ha	0.05 ha		
19	街区公園	向川原公園	0.03 ha	0.03 ha		
20	街区公園	大槌駅前公園	0.05 ha	0.05 ha		
21	街区公園	臼澤・寺野ふれあい公園	0.17 ha	0.17 ha		
22	街区公園	沢山小公園	0.02 ha	0.02 ha		
23	街区公園	公民館広場	0.05 ha	0.05 ha		

番号	公園区分	公園名	計画面積	開設面積		
				(0.14	ha)
24	街区公園	吉里吉里はまぎく公園	0.14 ha	0.14	ha	
25	街区公園	神社前広場	0.03 ha	0.03	ha	
26	街区公園	つるがさわ東公園	0.06 ha	0.06	ha	
27	街区公園	つるがさわ西公園	0.06 ha	0.06	ha	
28	街区公園	吉里吉里すじやま公園	0.02 ha	0.02	ha	
29	街区公園	浪板くじら公園	0.03 ha	0.03	ha	
30	街区公園	浪板向日葵公園	0.03 ha	0.03	ha	
31	街区公園	みはる公園	0.07 ha	0.07	ha	
32	街区公園	大仏様公園	0.02 ha	0.02	ha	
33	街区公園	谷の沢公園	0.03 ha	0.03	ha	
34	街区公園	大野沢公園	0.07 ha	0.07	ha	
35	街区公園	裏参道広場	0.09 ha	0.09	ha	
36	街区公園	二渡公園	0.07 ha	0.07	ha	
37	街区公園	ガード下公園	0.25 ha	0.25	ha	
38	街区公園	いさばや公園	0.39 ha	0.39	ha	
39	街区公園	三日月公園	0.12 ha	0.12	ha	
40	街区公園	赤浜遺跡公園	0.13 ha	0.13	ha	
41	街区公園	赤浜八幡公園	0.04 ha	0.04	ha	
42	街区公園	海の見える丘公園	0.03 ha	0.03	ha	

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編

- 観察では、大型の公園を含めていくつかの公園を調査しました。
- 街区公園は、地域のニーズを満たしているものの、集積が進む地域ニーズを満たす必要があると考えられます。

施設1. 大ヶ口公園

カテゴリ：町内公園

【概要】

- 案件用地から徒歩約10分の場所に位置している、敷地面積1600m²の都市公園である。
- 遊具は滑り台とスプリング遊具があるのみである。
- 遊具の下は、芝生だが、全体的ではない。



施設3. 城山公園

カテゴリ：町内公園、スポーツ施設

【概要】

- 高台にある公園と公民館。
- 体育館が整備され、680席の観覧席がある。
- 体育館では、バレー、バスケットボール、バトミントン等が対応可能競技となっており、成人式やコンサートにも利用されている。
- 又、トレーニング室もあり卓球が可能である。



施設2 (仮称) 鎮魂の森

カテゴリ：町内公園（検討中）

【概要】

- 追悼・鎮魂の場、伝承の場、支援への感謝を伝える場として、町内外の人々が日常的に訪れる場とする。
- 防潮堤に隣接した敷地に追悼の場、記憶の森、復興の広場、花の草地などを整備する予定。
- 完成日未定。



施設4. 船越公園

カテゴリ：町外（山田町）公園

【概要】

- 大槌町ICより約15分に位置する公園。
- コンビネーション遊具やブランコなどおなじみの遊具がそろっている。
- ジャブジャブ池も整備。
- 鯨と海の科学館も併設されている他、大人向け健康器具も整備されているため、利用者の年齢層は幅広いと考えられる。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ①公園編



- 大型公園事例では、その広大な面積を活用して、多くの機能を充実させ、対象年齢を拡大させることができます。
- 本事業の該当用地は、1.6haであるため、ある程度 ターゲットを絞り込む必要があります。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ②スポーツ全般



- スポーツ全般に対する要望は2番目に高い要素となっています。
- 一方で、想定するスポーツは様々であるため、個別の特定のスポーツ競技には絞られていない状態と考えられます。
- ネガティブ意見としては、コストにたいする意識が大きく、近隣市町村との共用なども提案されています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
2	文化・教育・スポーツ	スポーツ施設 (温水プール、フットサル、ボルダリング等)	○	×	○	◎	○	○	○	△	×	○	△	◎	44	16.7%

ポジティブな意見

- 予約なしで、気軽に遊びに行けるスポーツ施設がない。特に、屋内型のスポーツ施設がない（体育館はあるが）。大人が夜遅くまで体を動かせる施設と公園を併設するのにはあり。子供が遊んでいる間、大人がジムをするなどもあり。
- "町民の健康向上につながり長寿化によって人口減少にも一定の歯止め効果が期待できる。"
- 老若男女向けに必要性を感じる。
- 多目的公園の一部として多くの設備があることに越したことはない。

ネガティブな意見

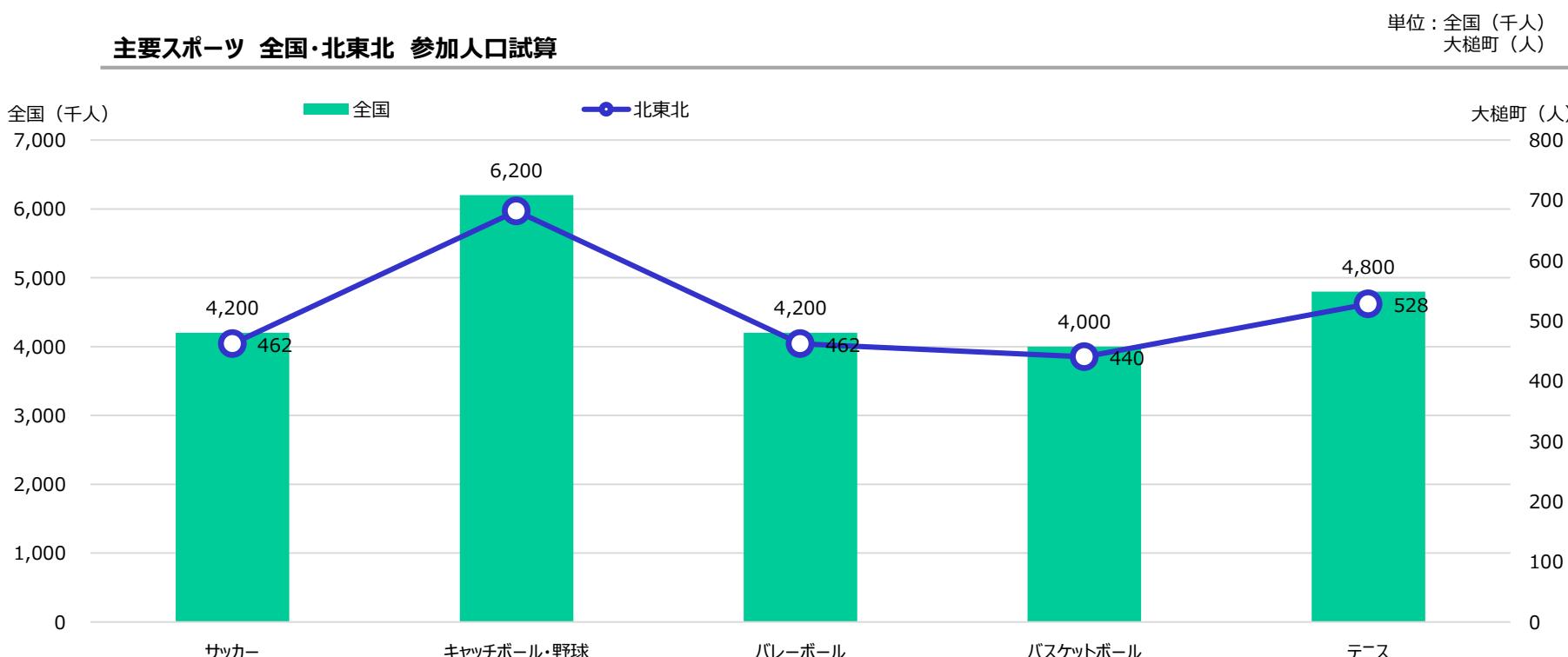
- 整備費用・運営経費が問題。利用人数など、整備費用に対する費用対効果が低いと思われる。
- 予算には限界がある。
- 温水プールはコスト面に不安があり、当面は釜石市内の施設利用がベストでは。(生徒の教育上必要であれば検討すべき)
- (公園)とセットで考えたい。安渡や赤浜の施設を規制緩和し、まずは既存施設でできるスポーツを「やりやすく」することが先かな。
- 必要性が低いと思われる。
- ただ建設資金、維持管理費のねん出が出来るか？

ポジティブな意見が多いものの、各施設において想定されるスポーツが異なっている。

複数のスポーツを対象とする場合は、整備面積、設備が拡大し、コストが大きくなる可能性が懸念される。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ②スポーツ全般

- 下記は、主要なスポーツの参加率から参加人口を試算した結果を整理しています。
- 全国では、キヤッチボール・野球の参加率が6.2%で最も高く、参加人口は620万人と試算されます。
- 北東北の参加率はテニスを除きすべて6.7%と全国より参加率が高い傾向にあります。今回は、全国の参加率を採用し、大槌町内の各スポーツの参加人口を試算したところ、キヤッチボール・野球が682人で最も多く、次いでテニスの528人と続いています。



	サッカー	キヤッチボール・野球	バレーボール	バスケットボール	テニス
全国 参加率 (%)	4.2	6.2	4.2	4	4.8
北東北 参加率 (%)	6.7	6.7	6.7	6.7	4.5
全国 参加人口 (千人)	4,200	6,200	4,200	4,000	4,800
大槌町 参加人口 (人) ※	462	682	462	440	528

※大槌町の参加人口は参加率 (%) を全国平均の数値を採用し、試算を行っています

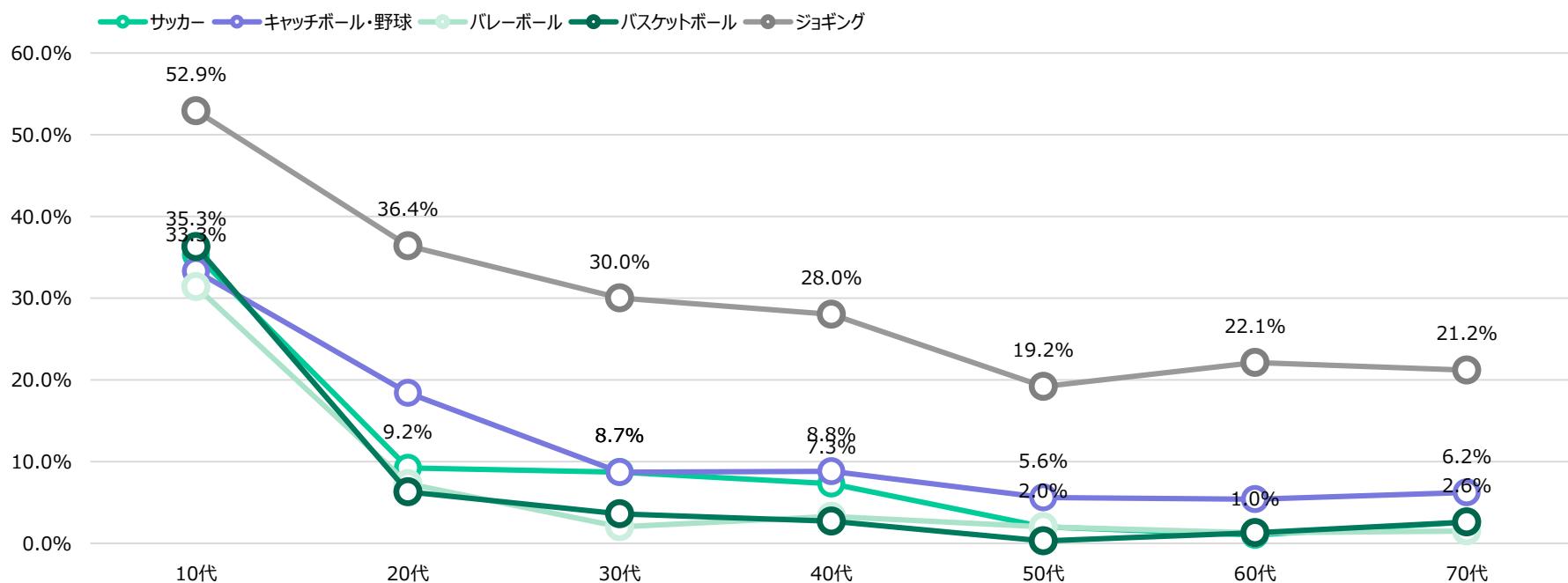
2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ②スポーツ全般



- 下記は、主要スポーツの年齢別の参加率となります。
- スポーツに関してはクラブ活動での参加率が高いため、10代において圧倒的に高い数値を示します。一方、年齢が下がると徐々に低下する傾向を示します。

主要スポーツ 男性・年齢別 参加率

単位：%



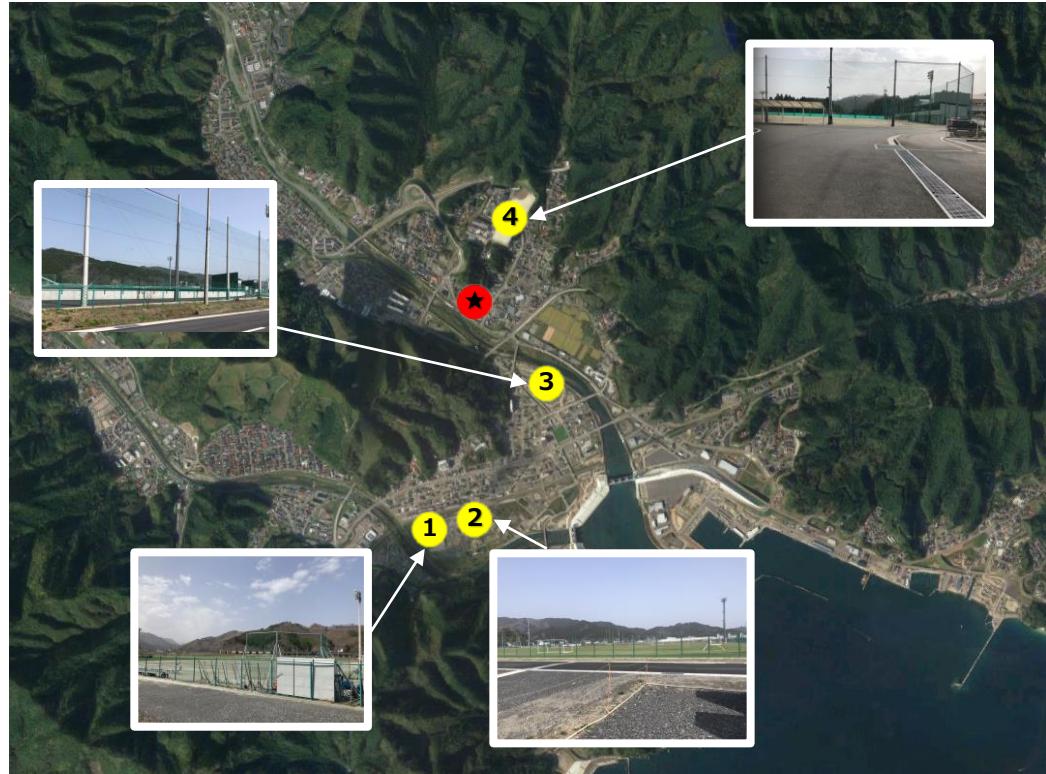
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
サッカー	35.3%	9.2%	8.7%	7.3%	2.0%	1.0%	2.6%
キャッチボール・野球	33.3%	18.4%	8.7%	8.8%	5.6%	5.4%	6.2%
バレーボール	31.4%	7.3%	2.0%	3.3%	2.0%	1.3%	1.5%
バスケットボール	36.3%	6.3%	3.6%	2.7%	0.3%	1.3%	2.6%
ジョギング	52.9%	36.4%	30.0%	28.0%	19.2%	22.1%	21.2%

出典：『公益財団法人日本生成本部「レジャー白書2020』より船井総研にて作成

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ②スポーツ全般



- 町内にあるスポーツ施設を視察したところ、既存施設でサッカー、野球等の主要なスポーツを楽しむことが出来る施設が存在しています。
- 跡地活用の際に、導入を検討する場合には、各主要スポーツの競技人口を試算したうえで、地域内に需要があるのか、また既存施設での需要を賄うことが出来ないのかを検証したうえで判断をする必要があります。



No	施設名	エリア	カテゴリ
1	多目的グラウンド	栄町（駅裏）	スポーツ
2	町営サッカー場	栄町（駅裏）	スポーツ
3	町営野球場	新町	スポーツ
4	大槌学園グラウンド	案件用地周辺エリア	スポーツ

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ②スポーツ全般



- スポーツ施設の地域内調査では下記の施設を訪れました。
- 既存施設で主要なスポーツを楽しむことが出来るところが地域内に点在しています。今後、導入を検討するにあたっては、地域内の利用者需要を試算し、利用が見込まれる機能に絞る必要があります。

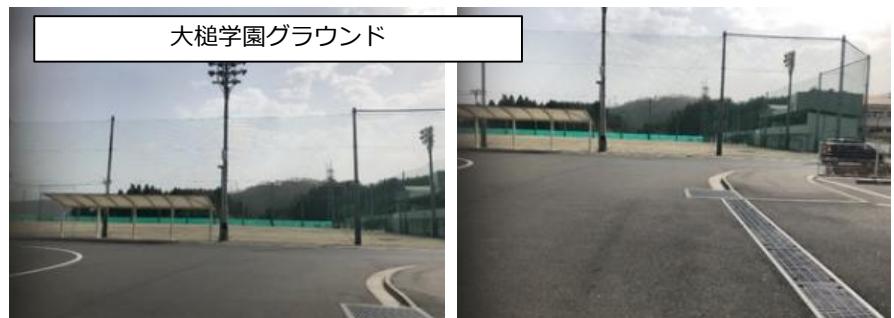
視察先 ①町営サッカー場・多目的グラウンド（グリーンフィールド）

- 楽天から寄付をうけて設置されたグリーンフィールドではサッカーをはじめ幅広いスポーツを楽しめる。
- また隣には多目的グラウンドがあり、いずれも広大な敷地で利用者にとっては利用しやすい環境が整っている。



視察先 ②大槌学園・③町営野球場

- 大槌町新町地区では町営の野球場が整備されている。
- 大槌学園を含むエリアは大型のグラウンドが整備されていますが、放課後は部活動での使用が多いため、小学生の自由な利用が難しいようである。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販（道の駅）



- 道の駅等物販施設については、第3位の要望の高さになっています。
- 道の駅へのイメージは良いものの、物販を行った場合の既存商業施設への影響を考慮する意見が多く見られます。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
3	産業	物販施設 (道の駅等)	△	△	△	○	○	×	△	×	○	△	×	×	30	16.7%

ポジティブな意見

- 公園と抱き合せなら考えられる。
- 特色あるものを打ち出すことでヒットしている道の駅は多く、何か特色あるものを作れるかどうかがポイントだと考える。
- 町外からの集客のため必要だろう。
- 24時間トイレは欲しいと思う。
- 道の駅自体は賛成。
- "当該跡地の立地の面から見ても、町内への誘客・交流人口の拡大を図るためにも道の駅は有効であると思う。海産物の産直市場も検討し、「だあすこ」との差別化を図る。

ネガティブな意見

- トイレだけあっても使用しにくいと思う。
- きらり跡地である必要性は無い。
- 売るものがたいしてないので、カフェや他の施設の一角に作る程度なら可能では？釜石のサンフィッシュや仙人峠の道の駅ほどの店舗が入っていても、客は来ないという現実も見つめるべき。
- 誰が経営主体になるかという問題はクリアすべき課題である。
- 町内商業者との競争になる。
- ただし「だあすこ」や「みづかみ」等の近隣施設の運営に影響の無いよう配慮が必要。

一定のポジティブな意見があるものの、既存商業集積への影響を考慮する意見が多い。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販（道の駅）



- 道の駅は、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」を併せ持つ施設として、全国的にその数を増加させました。
- 現在、道の駅数は1200近くまで増加しています。



道の駅シンボルマーク
木と駐車場、道路、建物と人
(インフォメーションの意味
も)により「道」をイメージ。
国土交通省にて商標登録。

道の駅 Ver. 1.0



道の駅が持つ機能

情報発信

道路・地域情報発信施設など

- 人・歴史・文化・風景・産物等の地域に関する情報を提供する場
- 道路利用者の円滑な流れを支えるための道路情報の提供の場

駐車場・トイレなど

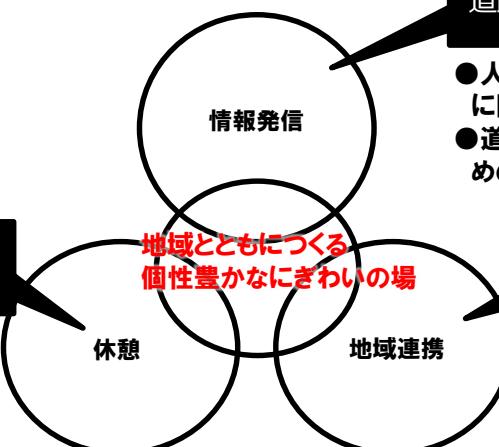
地域とともにつくる
個性豊かなにぎわいの場

休憩

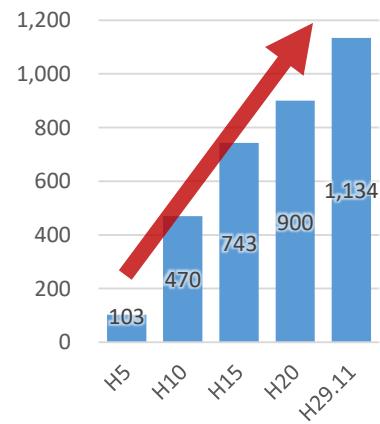
農水産物直売所・飲食施設など

- 地域内及び地域間連携を行うことで、活力ある地域づくりが促進される機能

- 道路利用者がいつでも自由に休憩し、清潔なトイレを利用できる快適な休憩施設



道の駅
登録数の推移



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販 (道の駅)



- 今後の道の駅では、地方創生を実現する拠点として「観光」や「防災」などの機能を付加し、民間事業者や道路関係団体と連携をしていくことが期待されています。

第1ステージ

『通過する道路利用者のサービス提供の場』

第2ステージ

『道の駅 자체が目的地』

これから

第3ステージ

『地方創生・観光を加速する拠点』へ

+

ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献

各「道の駅」における自由な発想と地元の熱意の下で、観光や防災など更なる地方創生に向けた取り組みを、官民の力を合わせて加速する。更に、「道の駅」同士や民間企業、道路関係団体等との繋がりを面的に広げることによって、元気に稼ぐ地域経営の拠点として力を高めるとともに、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献する。

● 観光で人を呼ぶ

「農業プラス観光」で人口3700人の村に年間120万人来訪。リピート率は約7割。
(群馬県川場村「川場田園プラザ」)



● 特產品で盛り上げる ~6次産業化で雇用と経済効果~

特產品を活かした加工食品の開発販売等、約60名の雇用を創出
(愛媛県内子町「内子フレッシュパーク」)



●「小さな拠点」をつくる

診療所や役場機能等、生活に必要な機能をワンストップで提供
(京都府南丹市「美山ふれあい広場」)



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販 (道の駅)

- 一般的な道の駅では、3層の利用者（道路利用者、観光客、地域住民）に対して3つの利益機能（直売所、物販、飲食）を提供することで利益を出し、公共サービス（休憩機能、情報発信機能）の提供を低コストで行っています。

道の駅の導入機能とターゲット

道路利用者

- 平日・休日問わず来訪
- トイレ等の休憩場所として利用する。

観光客

- 主に休日に来訪
- その地域ならではの商品を求めて利用する。

地域の住民

- 平日・休日問わず来訪
- 日常生活の買い物で利用する。
- 地域の交流の場として利用する。

直売所

- その地域の新鮮で、安心な農産物などを安く手に入れる目的に利用される。
- 地域の利用者からのニーズが高い。



物販

- 特産品のお土産、加工品が手に入る。
- 施設限定のオリジナル商品を開発することで、利益率を高く設定し、地域産業に貢献することができる。



- 観光客利用が多い。

- 惣菜を取り扱うことで地元客の利用も見込める。

飲食機能

- 休憩の際に飲食として併用される。
- 地元の食材を使ったここにしかないオリジナル商品を用意することで、集客を効果的に行うことができる。

- カフェ等の隙間時間で利用する機能を設置することで、滞在時間を延ばし、交流の場としても活用可能となる。



トイレ・駐車場

- 休憩、仮眠、車中泊として利用する。

道路・観光情報

- 道路交通情報を取得する。

- 地域の情報を入手し、次の立ち寄り場所を決める。

地域の交流機能

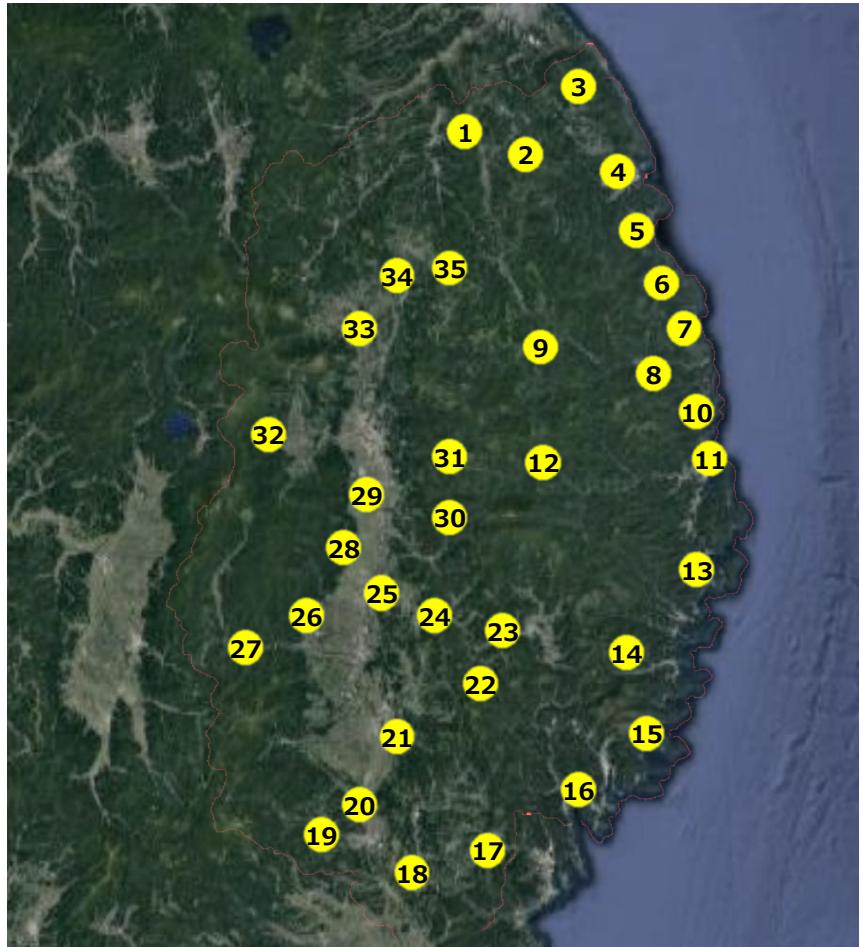
- 体験施設等と連携することで、地域内の回遊性が高まる。

- イベントを行い住民の交流の場として機能する。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販（道の駅）

- 岩手県内の道の駅は下記のように35施設が設置されており、地域に偏りなく立地しています。
- 案件地から最も近い施設は道の駅やまだで、約12分、次いで、道の駅釜石仙人峠で約20分が存在します。

岩手県内 道の駅マップ



	施設名
1	おりつめ
2	白樺の里 やまがた
3	おおの
4	くじ
5	のだ
6	青の国ふだい
7	たのはた
8	いわいづみ
9	三田貝分校
10	たろう
11	みやこ
12	やまびこ館
13	やまだ
14	釜石仙人峠
15	さんりく
16	高田松原
17	むろね
18	かわさき
19	巣美渓
20	平泉
21	みずさわ
22	種山ヶ原
23	遠野風の丘
24	みやもり
25	とおわ
26	はなまき西南
27	錦秋湖
28	石鳥谷
29	紫波
30	はやちね
31	区界高原
32	雫石あねっこ
33	にしね
34	石神の丘
35	くずまき高原

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販（道の駅）



- 案件用地周辺には、道の駅の利益機能と大きく重複する要素として「直売」に当たる部分でスーパー、だあすこの相互影響について検討する必要があります。
- 一方で観光物販は存在しておらず、「大槌らしい何か」を付加することによって利益機能を強化することができます。

①



【 だあすこ 】
・徒歩5分圏内に位置する農産物直売所。
・野菜の直売をメインとしている。
・飲食機能もあるが、メニューは足元商圏をターゲットにしており、観光向けのメニュー設定はそれほど多くない。



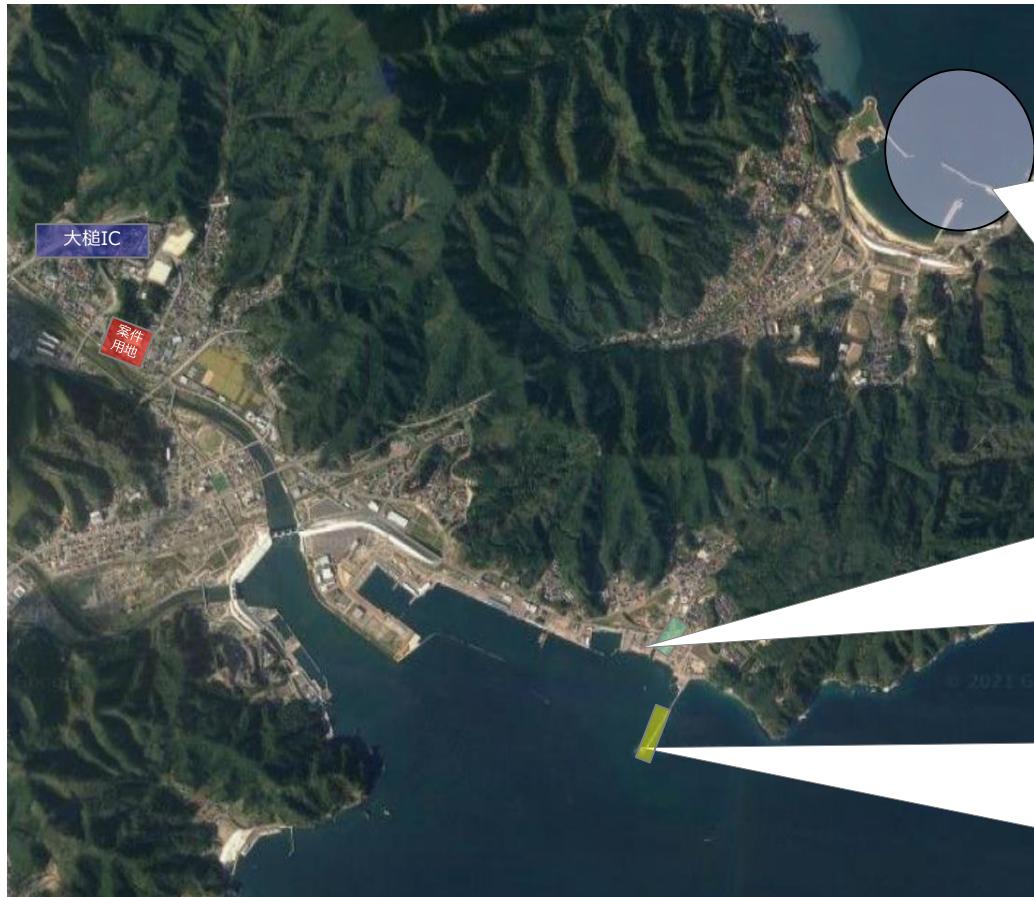
②



【 みずかみ 】
・道路を挟んで目の前に位置している大型スーパー・マーケット。
・品揃えも充実しており、足元商圏からの日常利用は多いと考えられる。
・飲食機能はなく、また、飲食スペースも狭いため、交流する場所はない。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ③物販（道の駅）

- 大槌町らしさにおいて、なんらかの資源を探索する場合は、委員からも評価の高かった「海の資源」の可能性が大きいと考えれます。
- 特に東京大学 大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターとの連携可能性は大きいと考えられます。



① 

【 トロウトサーモン・ギンザケの養殖場 】

- ・2020年より日本水産(株)が新おおつち漁業協同組合と組んで、船越湾にて試験養殖を行っている。
- ・岩手県内では「久慈」「宮古市」次いで3地域目の試験養殖場である。
- ・稚魚から成魚までの育成、加工まで地域で完結する一貫生産体制の確立を目指している。また、地域内販売を優先して行いたい考えも示している。

② 

【 東京大学 大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 】

- ・案件用地から、車で約5分に位置する研究所
- ・「海と希望の学校In三陸」という地域アイデンティティを再構築するプロジェクトを行っている。
- ・絵と伝統と知識を組み合わせて伝えていくなど独自のコンテンツで行っている。

③ 

【 蓬莱島（ひよごりひょうたん島） 】

- ・案件用地から車で5分の場所にある主要観光地。
- ・奉納祭として「ひょうたん島祭」を2018年に開催した際は、千人近い観光客であった。
- ・島まで防波堤が伸びており渡れるが、防波堤であるため、観光拠点としての整備が難しい状況である。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ④カフェ・レストラン



- 4番目にポイントが高い施設としては、カフェ、レストランが挙げられます。
- ◎は1つながら、×の数が2つしかなく、否定的な意見は少ないと考えられます。
- 一方で、物販・道の駅 同様、おおつちらしさがないと難しい点が指摘されています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
4	産業	カフェ・ファミリーレストラン	△	×	○	△	△	△	△	×	○	×	○	△	28	8.3%

ポジティブな意見

- 予算があればホール等の中に小さなカフェが有れば嬉しい。
- カフェ・飲食を望む声が多い。
- 道の駅に併設する形であれば、大型カフェ、ファミリー レストランの誘致も可能か。
- あればいいなとは思います。

ネガティブな意見

- 類似施設があるため、大型店にはこだわらず他分野 施設との複合施設ではどうか。
- お客様が来ないとと思います。来たとして、何のメリット があるか不明です。
- 地元商店は疲弊する、若者がデートに使うとは思え ない、観光客がわざわざどこにでもある店に行くはずも ないと思います。
- 出店してくれるところがあるかどうかでしょう。
- 飲食店も「岩手県にないもの」でなければ厳しいと思 う。

比較的ポイントは高いものの、◎は少なく、できれば欲しい、、という補足的な意見が多い。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ④カフェ・レストラン



- カフェ・レストランとは来場者が食事をしながらつろぐ場所を指し、簡単な軽食、スイーツ、パンのイートイン、コーヒー、紅茶、ソフトドリンクの提供等が想定されます。
- 平日は足元需要の主婦・高齢者層、休日は足元商圈のファミリーや観光需要を取り込むことが可能です。

部門概要

- ✓ カフェは主にコーヒーや紅茶などの飲み物、フルーツを用いた甘味や、サン・デイツなどの軽食を提供する飲食店を指す。
- ✓ 都市部では朝はビジネスマン・学生が朝食を取る場所、昼食の時間になると軽食よりも食事をとる場所として使用されている。
- ✓ 地方ではお茶や、軽食がとれる場所としての役割が強く、昼前～昼過ぎが最も混雑する時間帯である。
- ✓ ベーカリー等を付加することで、足元商圈からのリピーターはもちろん、専門店化することで、観光客の需要を取り込むことも可能である。

1 対象

メイン：近隣に務める会社員のランチ需要
サブ：買い物帰り主婦層

足元需要



・地元向けには、ある程度低価格帯のメニューが日常利用につながる。

ミニ観光需要



・地域の食材を使用した甘味、軽食の需要が高い。

遠方観光需要



・多用途展開が可能な商品を取扱うことでリピート需要獲得可能。地域色を取り入れると集客要素になる。

2 需要特性

取り扱う品目

【主な特徴】

- ・メニュー種類は10種類～15種類を取りそろえ、単価は低めに設定されるケースが多い。
- ・「そこでしか買えない」、「地元の材料を使った」など通常のファーストフード店との差別化を図る。

【カフェ・レストランのトレンド】

- ・カフェ(喫茶店)等は全国に69,977軒(2014年)あり、人口1千人当たりの喫茶店数をみると、高知県が1.56事業所と最も多く、次いで岐阜県が1.43事業所、愛知県及び和歌山県がともに1.13事業所などとなっており、西日本が多くなっている。
- ・市場規模は3,530億円と推定され、1世帯当たりの消費金額は増加傾向にあり2017年は6,142円であった。

【ベーカリー市場について】

- ・ベーカリーについては、食パン専門店やメロンパン専門店など、専門店化し、メディアに取り上げられる店舗は近年増加している。
- ・足元需要においては、平日は主婦層、休日は友達、カップル、ファミリー、さらに遠方からの旅行客等幅広い顧客セグメントから需要を取ることができる。

運営のポイント

【店舗運営方法】運営主体が一括管理を行うことで、直売所、総菜コーナーとの連携を図ることが可能となり商品開発等で相乗効果が期待できる。

【時間帯】地方では、お茶、軽食の場所としての役割が強く昼前～昼過ぎが最も混雑する時間帯である。

【利益率】一般的な飲食店の利益率は10%～15%である。

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ④カフェ・レストラン



- カフェの運営を想定する場合、独立採算では年間1500万円程度の売り上げが必要となります。
- その場合、30日営業で一日当たり4.2千円の売り上げが必要となり、客単価を300円とした場合に一日約139人の利用者の獲得が必要となります。
- 現状の商圈環境から考えると、運営についてはなんらかのサポートが必要となります。

項目	金額 (千円)	構成比
売上	15,000	100.0%
営業利益	703	4.7%

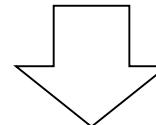
一般管理費	9,797	65%
人件費	5,297	35%
水光熱費	1,050	7%
販管費	450	3%
雑費	750	5%
その他経費	750	5%
家賃	1,500	10%
売上 原価	4,500	30.0%

※正社員給与は、月収20万円、賞与2か月にて試算。

※アルバイト社員は、時給850円×4.5時間／日×5日／週×52週で試算。

※福利厚生は、正社員人件費×13%にて試算

項目	(千円)
月売り上げ	1,250
日売り上げ	42



客単価	300円
客数	139人
開店時間	6時間
一時間当たり	23人

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ④カフェ・レストラン



- 独立採算でのカフェ運営は難しいですが、人件費を中心としたコストをカットすることでカフェ機能を付加することは可能です。
- 代表的な手法としては、セルフカフェ、自動販売機の導入が挙げられます。

手法① セルフカフェ

- 無人スタイルの運営方式であり、ドリンクバイキング等に使用する機材を設置し自分ですべて行うカフェスタイル。
- 店内は通常の有人カフェと同様なゾーニングであるが、商品を店内の雰囲気に合わせたオリジナルな商品にするなどしてコンビニとの差別化を図る。
- 警備会社の遠隔カメラなどを活用することで、セキュリティ面の問題をクリアする必要がある。

特徴	価格	◎	・人件費がかからず、リーズナブルに提供が可能。(コーヒー200円～)
	商品	○	・消費期限を考慮した商品構成になる。(お菓子やパン等) ・自販機のようなマシンで販売。
	利用者層	○	・多用途展開が可能な商品を取扱ことでリピート需要獲得可能。地域色を取り入れると集客要素になる。



手法② 自動販売機

- 自販機コンビニ(ASD)を活用することで、コンビニと同様に飲料以外のおにぎりやパンなど様々な食品を提供することが可能となる。
- 商品の補充も設置業者が請け負うことが多く、人件費もからない。
- 大手のコンビニの場合、賞味期限などの管理も自動で行う機械を導入している。

特徴	価格	◎	・常設コンビニの値段とほぼ同額だが、10円単位の値段設定のため多少高い。
	商品	○	・自分で管理しないため、弁当などの賞味期限にかかわらず、導入が可能である、
	利用者層	○	・近くにあるコンビニの自動販売機を導入することになるが、用途が違うため、利用者ニーズはある。



おむすびやSandwich
は、毎日入れ替え。

お弁当、パスタ、軽食、デザート、日用品まで幅広く
ラインナップ！

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ⑤文化・芸能



- アンケート結果から、「郷土芸能会館」に対する意見を見ると、文化伝承の役割を果たすうえで一定の賛同意見が上がっています。
- ポジティブな意見の中では、公園や道の駅等、現在検討施策として挙がるほかの機能と併設することで集客に寄与するとの声があがっています。一方、ネガティブな意見の中には、既存の活動拠点も複数存在することから、ハード面だけでなくソフト面でのファンづくり、またそのファンやサポーターを組織し、観光的な側面で収入を得ることで組織活動の維持を目指すべきとの意見もあがっています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
5	文化・教育・スポーツ	郷土芸能会館	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	28	8.3%

ポジティブな意見

- 公園も含めて一つに絞るのではなく、複合施設等かけ合わせの方が使い勝手が良いと思う。
- 必要性は感じる。
- 多目的音楽ホールと共に存しても良いと思います。
- コスト面の不安が解消できれば他部門施設との複合施設で評価は○。
- 道の駅に併設する形であれば、必要である。
- 週末の定期公演等があれば集客も期待できる。
- 駐車場・トイレ脇に設置すれば観光PRになると思います。

ネガティブな意見

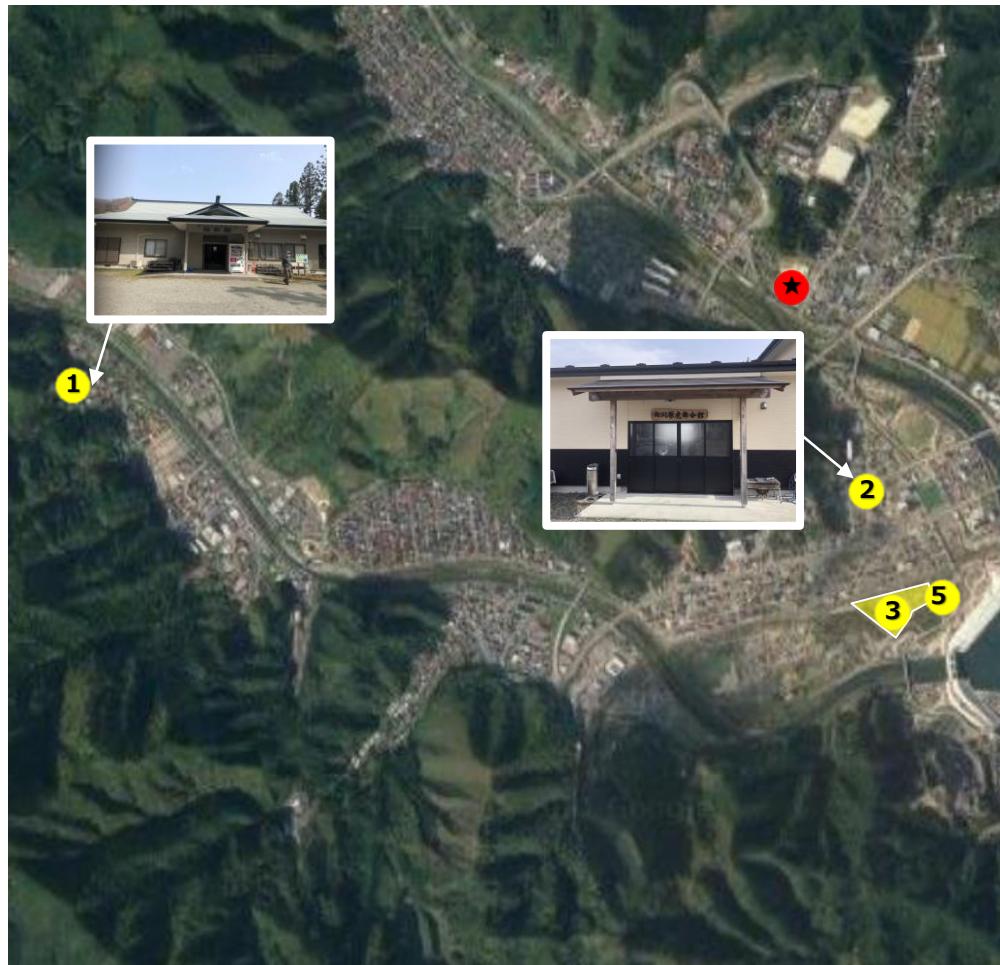
- 稼働率が課題。専用であるほどの需要が見込めない。ソフト事業で伝承・承継する事業を行うことで、盛り上げていく必要がある。
- あまり必要性を感じない。
- ソフト展開すべき。一度切りの見学より、賛助会員や遠方サポーターとか、何でも良いのでそれぞれの団体がファンを囲い込み、何度も訪れる仕掛けづくりを。
- 建設資金、維持管理費のねん出が出来るかどうか。
- 大槌の郷土芸能は1年に1度あるから「価値」がわかり、伝承していくのではないか。

地域の伝統文化としてのニーズは高い。一方で、単独での運営は難しいことから、現在検討している機能と組み合わせることで集客や利用者の満足度向上につながり、観光的な側面を期待されている

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ⑤文化・芸能



- 町内にある文化施設を視察したところ、地域内には伝統芸能を練習する場が複数あるほか、今後「郷土財活用エリア」や「鎮魂の森」等の設置が予定されています。
- 伝統芸能機能の運営状況については、活動者の居住地区が点在しているほか、組織活動を維持していく原資は有志からの出資やお祭り時の寄付が中心となっています。



No	施設名	エリア	カテゴリ
1	白澤鹿子踊保存会館伝承館	寺野	郷土芸能
2	向川原虎舞会館	未広町	郷土芸能
3	郷土財活用エリア	須賀町	文化
4	おしゃっち	新町	文化
5	鎮魂の森（予定地）	須賀町	防災・津波伝承

2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ⑤文化・芸能

- 文化施設の地域内調査では下記の施設を訪れました。
- いずれも、活動を行う組織メンバーからの出資やお祭り時の寄付により組織としての活動原資を貯っています。今後は、伝統芸能を継承する拠点として、また観光コンテンツの1つとして収益化を図る取り組みが必要と考えられます。

視察先 ①白澤鹿子踊保存会館伝承館

- 伝承館は平成11年に設置された。当初、役場からの一部支援と借り入れにより初期費用を貯った。
- 地域外で演舞する機会もあるが、コロナ禍でイベントが中止となっている。運営の主な収入源はお祭り時の寄付となっている。



視察先 ②向川原虎舞会館

- 虎舞を行う団体は、地域内に5団体存在する。
- 有志の出資と補助金によって会館を整備した。
- 運営の主な収入源は他団体と同様、お祭り時の寄付となっている。



2. 内容 (3) 各業態 トレンド・事例紹介 ⑤文化・芸能



- 公共施設の中で、今回要望の上がった複合機能を持つ下記の施設の視察を行いました。
- おしゃっちはホール、会議室、震災伝承展示室、スタジオ、図書館とさまざまな地域利用が可能な機能を保有しています。また公民館も会議室や体育館のように地域利用を中心とした機能を備えています。
- 地域内において、充実した機能があることからこれらの機能とのすみ分けを整理したうえで、導入を検討する必要があります。

視察先 ①文化交流センター おしゃっち

- おしゃっちは、一般社団法人おらが大槌夢広場が指定管理を受ける施設である。
- 施設内はホール、会議室、震災伝承展示室、スタジオ、図書館等があり、地域の方にとって充実した機能が備わっている。



視察先 ②中央公民館・城山公園体育館

- 中央公民館には、会議室や調理室等があり、体育館が併設されている。
- 体育館では、コンサートや成人式も行われる。



2. 内容 (4) 意見交換



【跡地利活用に向けた各機能について考えてみよう】
本日の皆様からの意見集計、及び 機能・業態トレンド、
さらに地域内充足状況を勘案し、今後の方針性について考えてみましょう。

ファシリテーターが調整しますので自由にご発言ください。

手順

① 意見まとめ

次ページのシートに基づいて、今回の情報、発表に対する意見等を整理しながら発言してください。

② 方向性検討

第3回 検討会の内容を踏まえて、跡地利活用についての自分の意見をまとめてみましょう。

※注意

1. 質問を準備し、施策の深堀をすること
2. 相手の質問やアドバイスを否定せず素直に聞くこと
3. 口論しないこと

2. 内容 (4) 意見交換



意見のある施策 1

意見のある施策 2

他委員の中での発言

他委員の中での発言